

## IV. 購入商品の使い方（メイクテクニック）

J 中学生

マルチパースのリキッドをチークとして  
立体感を出す  
実際にはマルチで使いこなすだけの  
テクニックはまだない

リム入りを重ねてリムを濃くしたり  
他のカラーの上に重ね塗りをする  
※夏は白の上がよい

リムのせ方に工夫する  
ex. 一粒だけのせる



マスカは何回も重ねづけし、乾いたらJ-Mでとかす

下まつげにもマスカ

リナーは濃い口紅、又は茶色の柔らかいアイブレイクを使う

グロスと口紅の使い方をいろいろ試してみる  
透明のグロスを口紅の上に重ねるのがよい



アイブローは眉毛の薄いところをカバーする感じで使用

光の当たり方で輝きの異なるニュアンスパールを全体にうすくのばし、キラ感を楽しむ

マスカラは目尻を濃くセリ通りに仕上げる

グラーのソフトウの濃い色をアイライナーとして使う

グラーのアイライナーなら太く入れてもキレイ  
目元がハッキリする効果大

学校に行く時もリップの上からパール入りのグロスをつけると  
お洒落な感じになる

リップのかわりにグロス。グロスだけですませたり、口紅に重ねたりして使う

引き続き、ネイルアートが流行

まつ毛に対しブラシを縦にして使う

ホール全体に白や白パールシャドウ、又は肌馴染みのよいオレンジパールやゴールド系をつけ、カラーをのせる。下まぶたにもつける  
そのまま、アイラインをきわだたせることもOK  
白のシャドウは濃色のシャドウが“ハズレ”に変身  
夏はラメ入りの方が活躍する

暗目のニュアンスカラーは、目のきわに入れると落ち着く

ファンデの前に目の前に白パールをつけるがファンデとの馴染みが今ひとつ

眉頭は薄くふわっと眉尻は細くシャープに仕上げる

黒のライナーの上に、カラーアイラインをひく  
アイカラーはベージュ系な茶か、カラーアイラインと同系色

白パールのパウダー(アイカラー)はいろいろ使えて重宝  
ex. 眉下のハイライト  
チークハイライト □として

アクセントに斜めカラーライン

クレヨンタイプのマルチパールは、目の下のシャドウとして  
又、リップのハイライトとしても使用

同系色濃淡のパールはアイカラー、ハイライト、アイライナーと使えて便利。但し、濃すぎるカラーは応用がききにくい  
(薄いカラーは応用しやすい)

チークは、ほほ骨に入れてぼかしていく

グロスには、パール感などが強いと季節によって使いにくい  
失敗したグロスは透明グロスをプラスして薄める感覚

ラメ入りグロスはそれだけつけてもOK。重ねるのであればパールがオススメ。(ラメがきついほどよい)

透明感のあるネイルは、違うネイルの上に重ねて  
変色のニュアンスを楽しむ

明るい色のよい口紅はラインを描かず、自然な感じでぼかしてつける

白のブレンディングはネイルアートには欠かせない色

